
「心血管イベントによる院外心肺停止患者における生命予後、脳神経学的予後、蘇生に伴う外傷・臓器損傷の予測因子に関する検討～COEDO-CPA レジストリー～」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療記録を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2015年1月1日から2024年3月31日の期間に心血管の病気が原因で院外心肺停止となり、当院に搬送となった患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

院外心肺停止は生命予後、脳神経学的予後の悪い状態であり、心肺蘇生術、血液の循環を補助する機械の導入、薬物療法等で救命に努めますが、生存退院や社会復帰出来る可能性は低いのが現状です。院外心肺停止の原因としては心臓が原因となることが最も多いと言われています。そこで今回、我々は心原性院外心肺停止患者さんの来院時の状態や治療内容を検証し、生命予後や脳神経学的予後、蘇生に伴う合併症が起こるリスク因子を同定し、今後の診療に繋げることを目的に研究を行います。

3. 研究期間

病院長の許可後～2030年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年6月6日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

患者さんの身体所見、検査データ、診療記録を用いた研究を行います。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者で

ある重城健太郎が管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

「蘇生に成功した心停止」「心肺停止」「来院時心肺停止」「心室細動」「心室頻拍」が主病名で、院外心肺停止で当院に搬送された患者さんの情報を過去の診療録（カルテ）から収集します。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

研究責任者：心臓内科	医師	教授	重城 健太郎
研究実施者：心臓内科	医師	助教	阿部 拓朗
心臓内科	医師	講師	小宮山 英徳
心臓内科	医師	助教	河原 勇貴
心臓内科	医師	助教	奥田 希子
心臓内科	医師	助教	小形 円香

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981
埼玉医科大学総合医療センター
担当 心臓内科 教授 重城 健太郎
TEL：049-228-3587（直通）
（平日 9 時～17 時）

○研究課題名：心血管イベントによる院外心肺停止患者における生命予後、脳神経学的予後、蘇生に伴う外傷・臓器損傷の予測因子に関する検討

～COEDO-CPA レジストリー～

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学総合医療センター 心臓内科 重城 健太郎